

平成23年行政事業レビューシート（外務省）

事業名	情報関係研修	担当部局庁	国際情報統括官組織	作成責任者								
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度開始	担当課室	第一国際情報官室 第三国際情報官室	第一国際情報官 柴田 裕憲								
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ－6 的確な情報収集及び分析、並びに情報及び分析の政策決定ラインへの提供									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第七項	関係する計画、通知等	—									
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	情報関係研修											
事業概要 (5行程度以内。別添可)	政策決定ラインが的確な外交政策を立案・実施するためには、重要な国際情勢に係わる時宜に合った情報を分析・評価することが必要である。我が国関心地域に関する対外情報分析機能を一層強化するため、分析要員の研修等を実施する。											
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他											
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求					
	予算 の 状 況	当初予算	25	24	21	10	12					
		補正予算	—	—	—	—						
		繰越し等	—	—	—	—						
		計	25	24	21	10	12					
	執行額		22	16	13							
	執行率(%)		86.9%	66.0%	61.9%							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)				
	(成果目標) 関係職員の対外情報分析能力の強化 (参考指標) ①分析資料の作成数(H20を100とした場合) ②幹部ブリーフの回数(H20を100とした場合)			成果実績	H20を100とする ①100 ②100	①97 ②46	①130 ②100	—				
				達成度	%	—	—					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込				
	研修参加のための出張者人数			活動実績 (当初見込み)	人	15	18	10 (12) (34)				
単位当たり コスト	12,733千円/年			算出根拠	年間執行額							
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由								
	旅費	10,498	11,798									
	計	10,498	11,798									

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	先方の事情による計画変更があった。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が高い場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	支出先及び使途については、契約書・請求書等にて確認し、把握に努めている。高度な専門知識や幅広い知見が要求される情報分析を行うためには、新たな分析要員の育成に係る研修が必要なところ、情報分析の能力・確度の向上のため、国内外の研究機関による研修に参加することが必要である。引き続き経費節約のため、研修の実施方法・場所・対象者等を検討し効果的な執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状どおり	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
平成23年度より「職員のための研修及び情報収集・分析会議」として、「情報関係研修」及び「人的情報収集強化関連経費」及び「情報収集・分析担当官会議」の3案件を統合。			

※平成22年度実績を記入

外務省
13百万円

〔情報関係研修〕

B.事務費
5百万円

〔外国旅費, 在外職員旅費〕

【随意契約】

A.民間会社A
8百万円

〔情報関係研修〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載）	A.民間会社A			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	—	—	8			
	計		8	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0	
D.			H.			
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	民間会社A	—	8	指名企画競争 (2者)	54.0%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.事務費.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	出張旅費	0.6	—	—
2	出張者B	出張旅費	0.5	—	—
3	出張者C	出張旅費	0.5	—	—
4	出張者D	出張旅費	0.5	—	—
5	出張者E	出張旅費	0.5	—	—
6	出張者F	出張旅費	0.5	—	—
7	出張者G	出張旅費	0.5	—	—
8	出張者H	出張旅費	0.4	—	—
9	出張者I	出張旅費	0.4	—	—
10	出張者J	出張旅費	0.3	—	—